

(19)日本国特許庁 (J P)

(12) 公 開 特 許 公 報 (A)

(11)特許出願公開番号

特開平8-24494

(43)公開日 平成8年(1996)1月30日

(51)Int.Cl.⁶

D 0 6 F 58/02

識別記号

H

G

片内整理番号

F I

技術表示箇所

審査請求 未請求 請求項の数10 O L (全 8 頁)

(21)出願番号 特願平6-165252

(22)出願日 平成6年(1994)7月18日

(71)出願人 000005821

松下電器産業株式会社

大阪府門真市大字門真1006番地

(72)発明者 坂本 登

大阪府門真市大字門真1006番地 松下電器
産業株式会社内

(72)発明者 松井 久哉

大阪府門真市大字門真1006番地 松下電器
産業株式会社内

(72)発明者 鍵 健太郎

大阪府門真市大字門真1006番地 松下電器
産業株式会社内

(74)代理人 弁理士 小鍛冶 明 (外2名)

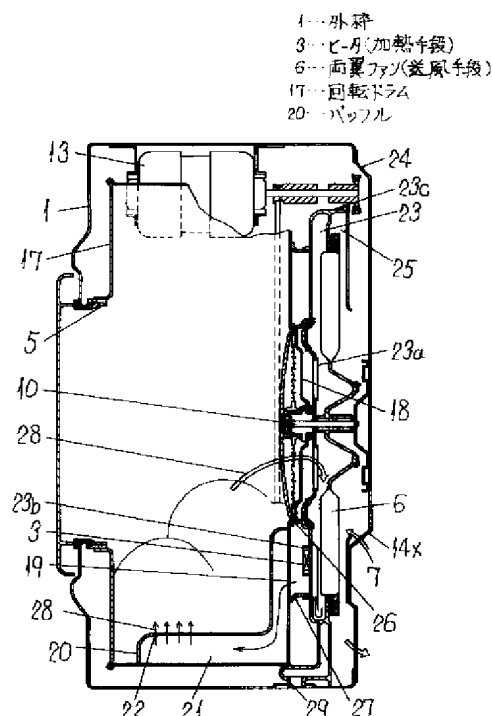
最終頁に続く

(54)【発明の名称】 衣類乾燥機

(57)【要約】

【目的】 複数個のバッフルを取着した回転ドラム内へ温風を送風して衣類を乾燥させる衣類乾燥機において、温風が衣類全体に当たるようにして、衣類を布傷みや熱収縮なくやさしく乾燥させるようにする。

【構成】 外枠1内に回転自在に配設した回転ドラム17の外周内面に複数個のバッフル20を取着し、両翼ファン6により回転ドラム17内へ温風を送風し、回転ドラム17内への送風経路にヒータ3を設ける。回転ドラム17は、バッフル20内に温風を流入し、バッフル20より回転ドラム17の略回転中心に向かって温風を吹き出すように構成した。



1

【特許請求の範囲】

【請求項1】 外枠内に回転自在に配設し外周内面に複数のバッフルを取着した回転ドラムと、前記回転ドラム内へ温風を送風する送風手段と、前記回転ドラム内への送風経路に設けた加熱手段とを備え、前記回転ドラムは、前記バッフル内に温風を流入し、前記バッフルより前記回転ドラムの略回転中心に向かって温風を吹き出すようにした衣類乾燥機。

【請求項2】 回転ドラムは、温風流入口を回転ドラムの回転中心より設け、バッフルの反温風流入口側に温風吹出口を設けた請求項1記載の衣類乾燥機。

【請求項3】 バッフルは、胴部の高さを反温風流入口側に向かって徐々に高くした請求項1または2記載の衣類乾燥機。

【請求項4】 バッフルは、胴部の回転ドラムの回転方向と反対側の側壁面に温風吹出口を設けた請求項1または2記載の衣類乾燥機。

【請求項5】 バッフルは、胴部の回転ドラムの回転方向の中央に凹部を設けた請求項1または2記載の衣類乾燥機。

【請求項6】 バッフルは、胴部の回転ドラムの回転方向の中央に設けた凹部に温風吹出口を設けた請求項5記載の衣類乾燥機。

【請求項7】 バッフルは、胴部の回転ドラムの回転方向と反対側の側壁面に取り外し可能な窓を設けた請求項1または2記載の衣類乾燥機。

【請求項8】 バッフルは、胴部の回転ドラムの回転方向と反対側の側壁面に取り外し可能に設けた窓に温風吹出口を設けた請求項7記載の衣類乾燥機。

【請求項9】 バッフルは、回転ドラムの外周壁に爪嵌合させ、側壁にねじにより締着するようにした請求項1～8のいずれか1項に記載の衣類乾燥機。

【請求項10】 バッフルは、ポリプロピレン、ポリアミドなどの合成樹脂、合板、板材などの木材等の熱伝導率が小さい材料で形成した請求項1～9のいずれか1項に記載の衣類乾燥機。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【産業上の利用分野】本発明は、複数のバッフルを取着した回転ドラム内へ温風を送風して衣類を乾燥させる衣類乾燥機に関するものである。

【0002】

【従来の技術】従来、この種の衣類乾燥機は図6に示すように構成していた。以下、その構成について説明する。

【0003】図に示すように、外枠1は、衣類を収納して攪拌し乾燥させる回転ドラム2を回転自在に設けており、回転ドラム2には衣類を攪拌するバッフル2bを設けている。ヒータ（加熱手段）3は、ヒータカバー4に収納しており、ヒータカバー4は開口部をドラム前板5

2

の穴5aに連通させている。両翼ファン（送風手段）6は、冷却風7と循環風8とを熱交換させるとともに送風機能を有しており、ファンケース9に回転自在に収納している。シャフト10は、回転ドラム2および両翼ファン6を軸支している。循環ダクト11は循環風8を循環させるものである。排水口12は凝縮した水を排水するものである。モータ13は、回転ドラム2および両翼ファン6を回転駆動する。裏板14は、外枠1の後面を覆い、冷却風7を吸気する穴14xを設けている。

【0004】ファンケース9は、外周に複数の断面歯状のリング6cを有する両翼ファン6を内包する略リング凹部を設けて循環風8のシールとし、両翼ファン6のリング6cより外方に渦室9dを形成している。

【0005】上記構成において、モータ13が回転すると、回転ドラム2および両翼ファン6が回転する。両翼ファン6が回転すると、冷却風7と循環風8が発生し、循環風8は循環ダクト11を経由してヒータ3に至り、ヒータ3により加熱されて回転ドラム2内に導入され、衣類をバッフル2bにより攪拌しながら乾燥し、再度両翼ファン6に戻るといった流れを形成する。一方、衣類と熱交換し高温多湿となった循環風8の水蒸気は凝縮水となり、排水口12より外枠1外へ排水される。

【0006】

【発明が解決しようとする課題】このように従来の構成では、温風はヒータ3より前方のドラム前板5の穴5aより集中して回転ドラム2内に導入されるため、衣類に集中して当たるため、布傷み、熱収縮などが発生する危険があるという問題があった。

【0007】また、温風はヒータ3より前方のドラム前板5の穴5aより集中して回転ドラム2内に導入され、ドラム前板5は金属板で形成しているため、ドラム前板5の温度が高くなっており、乾燥途中にドア16を開いて回転ドラム2内に手を入れたとき、ドラム前板5に触れると火傷する危険があった。

【0008】本発明は上記課題を解決するもので、温風が衣類全体に当たるようにして、衣類を布傷みや熱収縮なくやさしく乾燥させるようにすることを第1の目的としている。

【0009】また、上記第1の目的を達成するとともに、回転ドラム内に容易に温風を送風できるようにすることを第2の目的としている。

【0010】また、上記第1の目的を達成するとともに、バッフル内より温風流入口を通して異物が侵入するのを防止することを第3の目的としている。

【0011】また、上記第1の目的を達成するとともに、回転ドラム内に投入した衣類の量が多く、バッフルに回転ドラムの略回転中心に向けて設けた温風吹出口が衣類によって塞がれた場合も、回転ドラム内に温風を吹き出すようにすることを第4の目的としている。

【0012】また、上記第1の目的を達成するととも

50

に、回転ドラム内に投入した衣類の量が少ない場合でも、衣類を確実に撹拌できるようにすることを第5の目的としている。

【0013】また、上記第1の目的を達成するとともに、回転ドラム内に投入した衣類の量が少ない場合でも、衣類を確実に乾燥できるようにすることを第6の目的としている。

【0014】また、上記第1の目的を達成するとともに、バッフル内に侵入した糸屑などを容易に除去できるようにすることを第7の目的としている。

【0015】また、上記第1の目的を達成するとともに、回転ドラム内に温風を吹き出す温風吹出口を容易に形成できるようにすることを第8の目的としている。

【0016】また、上記第1の目的を達成するとともに、バッフルの取付工数を削減し、強度および気密性を確保することを第9の目的としている。

【0017】また、上記第1の目的を達成するとともに、不用意にバッフルに触れた場合にも火傷をしないようにすることを第10の目的としている。

【0018】

【課題を解決するための手段】本発明は上記第1の目的を達成するために、外枠内に回転自在に配設し外周内面に複数個のバッフルを取着した回転ドラムと、前記回転ドラム内へ温風を送風する送風手段と、前記回転ドラム内への送風経路に設けた加熱手段とを備え、前記回転ドラムは、前記バッフル内に温風を流入し、前記バッフルより前記回転ドラムの略回転中心に向かって温風を吹き出すようにしたことを第1の課題解決手段としている。

【0019】また、第2の目的を達成するために、上記第1の課題解決手段の回転ドラムは、温風流入口を回転ドラムの回転中心より設け、バッフルの反温風流入口側に温風吹出口を設けたことを第2の課題解決手段としている。

【0020】また、第3の目的を達成するために、上記第1または第2の課題解決手段のバッフルは、胴部の高さを反温風流入口側に向かって徐々に高くしたことを第3の課題解決手段としている。

【0021】また、第4の目的を達成するために、上記第1または第2の課題解決手段のバッフルは、胴部の回転ドラムの回転方向と反対側の側壁面に温風吹出口を設けたことを第4の課題解決手段としている。

【0022】また、第5の目的を達成するために、上記第1または第2の課題解決手段のバッフルは、胴部の回転ドラムの回転方向の中央に凹部を設けたことを第5の課題解決手段としている。

【0023】また、第6の目的を達成するために、上記第5の課題解決手段のバッフルは、胴部の回転ドラムの回転方向の中央に設けた凹部に温風吹出口を設けたことを第6の課題解決手段としている。

【0024】また、第7の目的を達成するために、上記

第1または第2の課題解決手段のバッフルは、胴部の回転ドラムの回転方向と反対側の側壁面に取り外し可能な窓を設けたことを第7の課題解決手段としている。

【0025】また、第8の目的を達成するために、上記第7の課題解決手段のバッフルは、胴部の回転ドラムの回転方向と反対側の側壁面に取り外し可能に設けた窓に温風吹出口を設けたことを第8の課題解決手段としている。

【0026】また、第9の目的を達成するために、上記第1から第8の課題解決手段のバッフルは、回転ドラムの外周壁に爪嵌合させ、側壁にねじにより締着するようにしたことを第9の課題解決手段としている。

【0027】また、第10の目的を達成するために、上記第1から第9の課題解決手段のバッフルは、ポリプロピレン、ポリアミドなどの合成樹脂、合板、板材などの木材等の熱伝導率が小さい材料で形成したことを第10の課題解決手段としている。

【0028】

【作用】本発明は上記した第1の課題解決手段により、加熱手段により加熱された温風がバッフルの温風吹出口より回転ドラムの略回転中心に向かって吹き出し、衣類にまんべんなく当たり、布傷みや熱収縮なくやさしく乾燥させることができる。

【0029】また、第2の課題解決手段により、温風流入口を回転ドラムの回転中心より設けているため、回転ドラムが回転しているときの温風流入口における周速を低くすることができ、バッフル内へ温風を容易に流入させることができ、また、バッフルの反温風流入口側に温風吹出口を設けているため、温風吹出口から吹き出した温風を回転ドラムの前後に流れるようにでき、温風が衣類全体に当たるようにできる。

【0030】また、第3の課題解決手段により、バッフル内に異物が侵入した場合に、異物は回転ドラムの回転によって温風流入口と反対側に移動し、温風流入口を通過して侵入することがなく、異物がヒータ（加熱手段）に接触することによる絶縁異常、異常過熱などの事故を防止できる。

【0031】また、第4の課題解決手段により、回転ドラム内に投入した多量の衣類を投入して運転した場合に、バッフルに回転ドラムの略回転中心に向けて設けた温風吹出口が衣類によって塞がれると、回転ドラム内に温風を吹き出すことができなくなるが、この場合でも、バッフルの胴部の回転ドラムの回転方向と反対側の側壁面に設けた温風吹出口より回転ドラム内に温風を吹き出すことができ、回転ドラム内の衣類を乾燥することができる。

【0032】また、第5の課題解決手段により、回転ドラム内に投入した衣類の量が少ない場合に、衣類がバッフルに乗り上がっても凹部によってすぐに落下するため、衣類がバッフルに乗り上がった状態で、回転ドラム

の回転とともに共廻りするのを防止できる。

【0033】また、第6の課題解決手段により、回転ドラム内に投入した衣類の量が少ない場合に、衣類がバッフルに乗り上がった状態で、回転ドラムの回転とともに共廻りしても、凹部に設けた温風吹出口より温風が吹き出すため、バッフルに乗り上げた衣類も乾燥することができる。

【0034】また、第7の課題解決手段により、バッフル内に温風とともに糸屑などが侵入した場合に、窓を取り外して糸屑を除去することができ、糸屑の侵入による温風の風量低下を防止でき、また、窓はバッフルの胴部の回転ドラムの回転方向と反対側の側壁面に設けているため、回転ドラムを回転したとき、衣類に直接当たって衣類を引っかけることがない。

【0035】また、第8の課題解決手段により、回転ドラム内に投入した多量の衣類を投入して運転した場合に、バッフルに回転ドラムの略回転中心に向けて設けた温風吹出口が衣類によって塞がれて、回転ドラム内に温風を吹き出すことができなくなった場合でも、窓に設けた温風吹出口より温風を吹き出すことができ、また、この温風吹出口を容易に形成することができる。

【0036】また、第9の課題解決手段により、バッフルを回転ドラムに簡単に取り付けることができて取付工数を削減できるとともに、強度および気密性を確保することができる。

【0037】また、第10の課題解決手段により、乾燥運転の途中に回転ドラム内に手を入れて、不用意にバッフルに触れた場合でも、火傷するのを防止できる。

【0038】

【実施例】以下、本発明の一実施例を図1および図2を参照しながら説明する。なお、従来例と同じ構成のものは同一符号を符して説明する。

【0039】図に示すように、回転ドラム17は、後面略中央部に吸気口18を設け、かつ外周部にヒータ（加熱手段）3に対向して複数個の温風流入口19を設けている。バッフル20は、温風流入口19と連通する風洞21を有し、温風流入口19と反対側に複数個の温風吹出口22を回転ドラム17の略回転中心に向かって設け、回転ドラム17の外周内面に複数個取付している。このとき、温風流入口19は、回転ドラム17の回転中心より設けている。

【0040】循環側ファンケース23は、略中央部に吸気穴23aを設け、かつ吹出口23bを略外周部に設けている。そして、循環側ファンケース23に延設したフランジ23cと裏板24とにより冷却側ファンケース25を形成している。ヒータ3は、循環側ファンケース23の吹出口23bに近接して設けている。循環側ファンケース23の吸気穴23aの外周に略円筒状の内側シール26を設け、かつヒータ3の外周に略円筒状の外側シール27を設け、吸気穴23aと吹出口23bとを気密

的に分離している。

【0041】上記構成において、モータ13が回転すると、回転ドラム17および両翼ファン6が回転する。両翼ファン6が回転すると、冷却風7と循環風28が発生し、循環風28は、循環側ファンケース23に至り、循環側ファンケース23の吹出口23bよりヒータ3を経由して加熱され、内側シール26と外側シール27との間を通り、回転ドラム17の温風流入口19を経由して、バッフル20の風洞21を通して温風吹出口22より回転ドラム17内に回転ドラム17の略回転中心に向かって吹き出され、回転ドラム17内の衣類を乾燥する。そして、回転ドラム17の吸気口18から循環側ファンケース23の吸気穴23aを通して両翼ファン6に至るという流れを形成する。

【0042】このとき、温風流入口19は、回転ドラム17の回転中心より設けているため、回転ドラム17が回転しているときの温風流入口19における周速を低くすることができ、バッフル20内へ温風を容易に流入させることができ、また、バッフル20の温風吹出口22を温風流入口19と反対側に回転ドラム17の略回転中心に向かって設けているため、温風吹出口22から吹き出した温風を回転ドラム17の前後に流れるようにでき、温風が衣類全体に当たるようにできる。一方、衣類と熱交換し高温多湿となった循環風28は凝縮水となり、排水口29より外枠1外へ排水される。

【0043】このように本実施例によれば、回転ドラム17内を循環する温風がバッフル20の温風吹出口22より回転ドラム17の略回転中心に向かって吹き出し、衣類にまんべんなく当たり、布傷みや熱収縮なくやさしく乾燥させることができる。

【0044】つぎに、バッフル20の実施例について図3から図5を参照しながら説明する。

【0045】図3(a)および図4に示すように、バッフル20は、空洞21を形成する胴部30の高さを反温風流入口19側に向かって徐々に高くしている。すなわち、図3(a)に示すように、温風流入口19側の高さAに対して、反温風流入口19側の高さBを高くしている。この構成により、バッフル20内に異物が侵入した場合に、異物は回転ドラム17の回転によって温風流入口19と反対側に移動し、温風流入口19を通して侵入することがなく、異物がヒータ3に接触することによる絶縁異常、異常過熱などの事故を防止できる。

【0046】また、バッフル20は、図3(a)に示すように、胴部30の回転ドラム17の回転方向と反対側の側壁面に温風吹出口31を設けている。この構成により、回転ドラム17内に投入した多量の衣類を投入して運転した場合に、バッフル20に回転ドラム17の略回転中心に向けて設けた温風吹出口22が衣類によって塞がれると、回転ドラム17内に温風を吹き出すことができなくなるが、この場合でも、バッフル20の胴部30

の回転ドラム17の回転方向と反対側の側壁面に設けた温風吹出口31より回転ドラム17内に温風を吹き出すことができ、回転ドラム17内の衣類を乾燥することができる。

【0047】また、バッフル20は、図3(b)および図4に示すように、胴部30の回転ドラム17の回転方向の中央に凹部32を設けている。この構成により、回転ドラム17内に投入した衣類の量が少ない場合に、衣類がバッフル20に乗り上がっても凹部32によってすぐに落下するため、衣類がバッフル20に乗り上がった状態で、回転ドラム17の回転とともに共廻りするのを防止できる。

【0048】また、バッフル20は、図3(b)および図4に示すように、胴部30の回転ドラム17の回転方向の中央に設けた凹部32に温風吹出口33を設けている。この構成により、回転ドラム17内に投入した衣類の量が少ない場合に、衣類がバッフル20に乗り上がった状態で、回転ドラム17の回転とともに共廻りしても、凹部32に設けた温風吹出口33より温風が吹き出すため、バッフル20に乗り上げた衣類も乾燥することができる。

【0049】また、バッフル20は、図3(a)(b)および図4に示すように、胴部30の回転ドラム17の回転方向と反対側の側壁面に取り外し可能な窓34を設けている。この構成により、バッフル20内に温風とともに糸屑などが侵入した場合に、窓34を取り外して糸屑を除去することができ、糸屑の侵入による温風の風量低下を防止でき、また、窓34はバッフル20の胴部30の回転ドラム17の回転方向と反対側の側壁面に設けているため、回転ドラム17を回転したとき、衣類に直接当たって衣類を引っかけることがない。

【0050】また、バッフル20は、図3(a)に示すように、胴部30の回転ドラム17の回転方向と反対側の側壁面に取り外し可能な設けた窓34に温風吹出口31を設けている。この構成により、回転ドラム17内に投入した多量の衣類を投入して運転した場合に、バッフル17に回転ドラムの略回転中心に向けて設けた温風吹出口22が衣類によって塞がれて、回転ドラム17内に温風を吹き出すことができなくなった場合でも、窓34に設けた温風吹出口31より温風を吹き出すことができ、また、この温風吹出口31は、窓34の成型と同時に形成できるため、容易に形成することができる。

【0051】また、図3(a)~(c)および図5に示すように、バッフル20の下端にフランジ35を設け、このフランジ35に複数の爪36を形成している。回転ドラム17の外周壁37にL字状の角孔38を設け、爪36を角孔38に挿入した後、スライドさせて爪36の係止部39を回転ドラム17の係止片40に係止させ、バッフル20に設けたボス41にねじ(図示せず)を螺合して回転ドラム17の側壁42に締着する。爪36を挿入

し、スライドさせて後の角孔38はフランジ35により覆われる。

【0052】この構成により、バッフル20を回転ドラム17に簡単に取り付けることができ取付工数を削減できるとともに、取付強度を大きくでき、また、バッフル20の下端に設けたフランジ35により気密性を確保することができ、温風がバッフル20の下端より洩れるのを防止できる。

【0053】また、バッフル20は、ポリプロピレン、ポリアミドなどの熱可塑性樹脂、フェノール、メラミンなどの熱硬化性樹脂、合板、板材などの木材等の熱伝導率が小さい材料で形成している。この構成により、乾燥運転の途中に回転ドラム17内に手を入れて、不用意にバッフル20に触れた場合でも、火傷するのを防止することができる。

【0054】なお、上記実施例では、両翼ファン6を用いて回転ドラム17内に循環風28を循環させるように構成しているが、ヒータ3により加熱された温風を回転ドラム17内に吹き出し、衣類を乾燥させた後、機外へ排出する方式の衣類乾燥機であってもよいことはいうまでもない。

【0055】

【発明の効果】以上のように本発明は、外枠内に回転自在に配設し外周内面に複数のバッフルを取着した回転ドラムと、前記回転ドラム内へ温風を送風する送風手段と、前記回転ドラム内への送風経路に設けた加熱手段とを備え、前記回転ドラムは、前記バッフル内に温風を流入し、前記バッフルより前記回転ドラムの略回転中心に向かって温風を吹き出すようにしたから、加熱手段により加熱された温風がバッフルの温風吹出口より回転ドラムの略回転中心に向かって吹き出し、衣類にまんべんなく当たり、布傷みや熱収縮なくやさしく乾燥させることができる。

【0056】また、回転ドラムは、温風流入口を回転ドラムの回転中心より設け、バッフルの反温風流入口側に温風吹出口を設けたから、回転ドラムが回転しているときの温風流入口における周速を低くすることができ、バッフル内へ温風を容易に流入させることができ、また、温風吹出口から吹き出した温風を回転ドラムの前後に流れるようにでき、温風が衣類全体に当たるようにできる。

【0057】また、バッフルは、胴部の高さを反温風流入口側に向かって徐々に高くしたから、バッフル内に異物が侵入した場合に、異物は回転ドラムの回転によって温風流入口と反対側に移動し、温風流入口を通して侵入することがなく、異物がヒータに接触することによる絶縁異常、異常過熱などの事故を防止できる。

【0058】また、バッフルは、胴部の回転ドラムの回転方向と反対側の側壁面に温風吹出口を設けたから、回転ドラム内に投入した衣類の量が多く、バッフルに回転

ドラムの略回転中心に向けて設けた温風吹出口が衣類によって塞がれた場合も、回転ドラム内に温風を吹き出すことができ、回転ドラム内の衣類を乾燥することができる。

【0059】また、バッフルは、胴部の回転ドラムの回転方向の中央に凹部を設けたから、回転ドラム内に投入した衣類の量が少ない場合に、衣類がバッフルに乗り上がった状態でも、凹部によってすぐに落下するため、衣類がバッフルに乗り上がった状態で、回転ドラムの回転とともに共廻りするのを防止でき、衣類を確実に攪拌することができる。

【0060】また、バッフルは、胴部の回転ドラムの回転方向の中央に設けた凹部に温風吹出口を設けたから、回転ドラム内に投入した衣類の量が少ない場合に、衣類がバッフルに乗り上がった状態で、回転ドラムの回転とともに共廻りしても、凹部に設けた温風吹出口より温風が吹き出すため、バッフルに乗り上げた衣類も確実に乾燥することができる。

【0061】また、バッフルは、胴部の回転ドラムの回転方向と反対側の側壁面に取り外し可能な窓を設けたから、バッフル内に温風とともに糸屑などが侵入した場合に、窓を取り外して糸屑を除去することができ、糸屑の侵入による温風の風量低下を防止でき、また、窓はバッフルの胴部の回転ドラムの回転方向と反対側の側壁面に設けているため、回転ドラムを回転したとき、衣類に直接当たって衣類を引っかけることがない。

【0062】また、バッフルは、胴部の回転ドラムの回転方向と反対側の側壁面に取り外し可能に設けた窓に温風吹出口を設けたから、回転ドラム内に投入した多量の衣類を投入して運転した場合に、バッフルに回転ドラムの略回転中心に向けて設けた温風吹出口が衣類によって

塞がれて、回転ドラム内に温風を吹き出すことができなくなった場合でも、窓に設けた温風吹出口より温風を吹き出すことができ、また、この温風吹出口を容易に形成することができる。

【0063】また、バッフルは、回転ドラムの外周壁に爪嵌合させ、側壁にねじにより締着するようにしたから、バッフルを回転ドラムに簡単に取り付けることができ、取付工数を削減できるとともに、強度および気密性を確保することができる。

【0064】また、バッフルは、ポリプロピレン、ポリアミドなどの合成樹脂、合板、板材などの木材等の熱伝導率が小さい材料で形成したから、乾燥運転の途中に回転ドラム内に手を入れて、不用意にバッフルに触れた場合でも、火傷するのを防止できる。

【図面の簡単な説明】

【図1】本発明の一実施例の衣類乾燥機の縦断側面図

【図2】同衣類乾燥機の回転ドラムの一部切欠した分解斜視図

【図3】(a) 同衣類乾燥機のバッフルの拡大縦断断面図

(b) 同衣類乾燥機のバッフルの拡大上面図

(c) 同衣類乾燥機のバッフルの拡大側面図

【図4】同衣類乾燥機のバッフルの拡大斜視図

【図5】同衣類乾燥機のバッフルの回転ドラムへの取付を示す拡大分解斜視図

【図6】従来の衣類乾燥機の縦断断面図

【符号の説明】

1 外枠

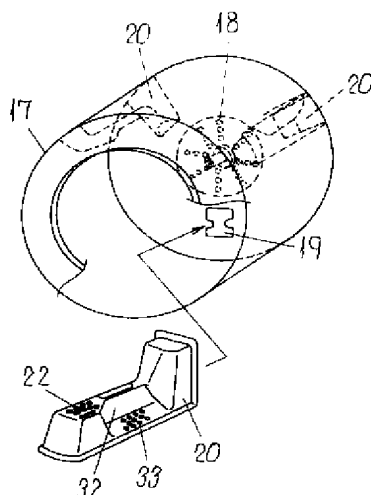
3 ヒータ（加熱手段）

6 両翼ファン（送風手段）

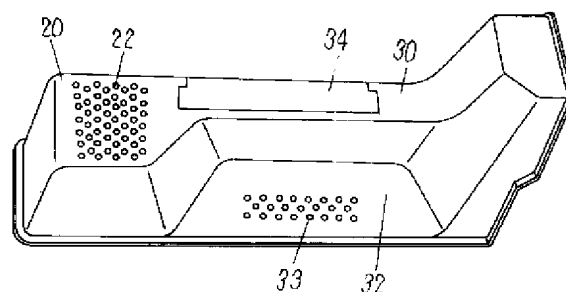
17 回転ドラム

20 バッフル

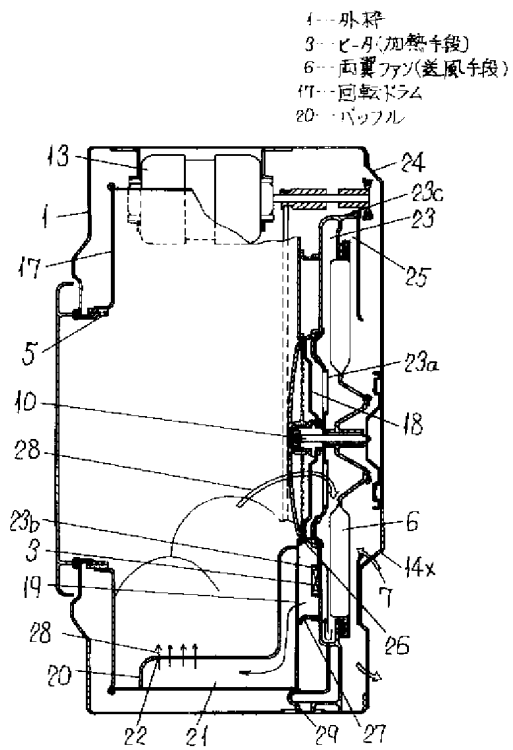
【図2】



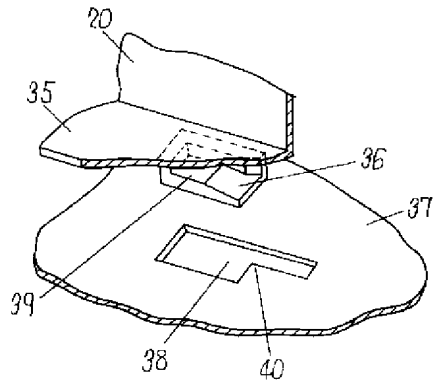
【図4】



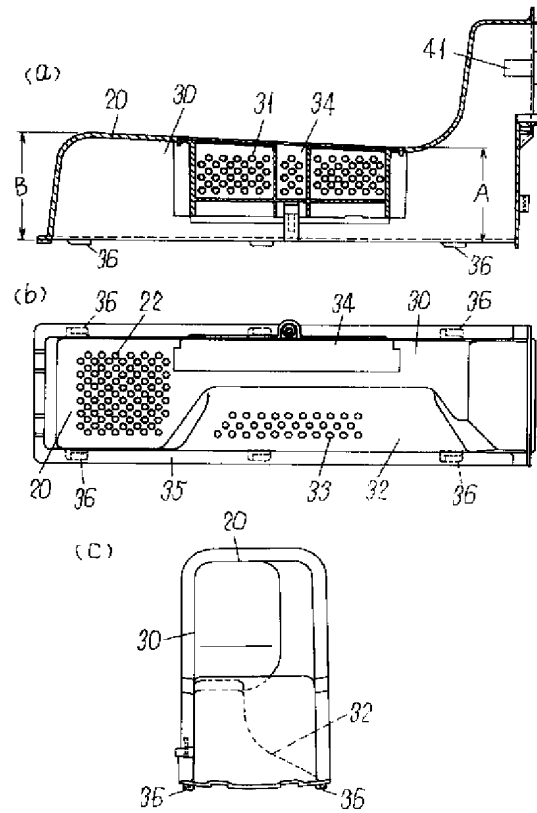
【図1】



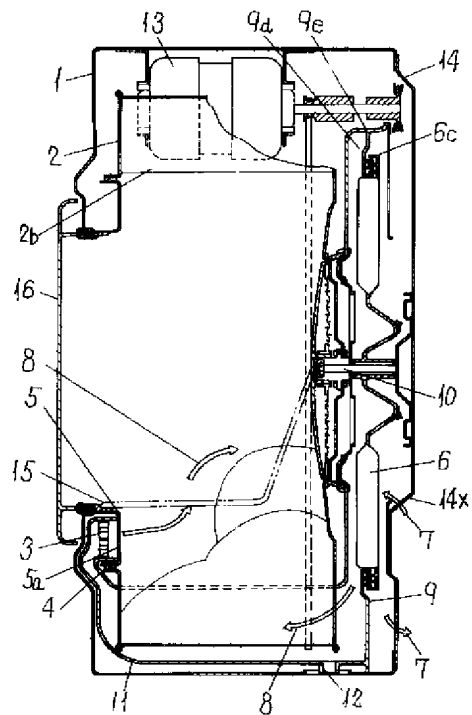
【図5】



【図3】



【図6】



フロントページの続き

(72)発明者 犬塚 正
大阪府門真市大字門真1006番地 松下電器
産業株式会社内

(72)発明者 河合 哲夫
大阪府門真市大字門真1006番地 松下電器
産業株式会社内

(72)発明者 太田 康彦
大阪府門真市大字門真1006番地 松下電器
産業株式会社内

(72)発明者 今井 俊次
大阪府門真市大字門真1006番地 松下電器
産業株式会社内

PAT-NO: JP408024494A
DOCUMENT-IDENTIFIER: JP 08024494 A
TITLE: CLOTHING DRIER
PUBN-DATE: January 30, 1996

INVENTOR-INFORMATION:

NAME	COUNTRY
SAKAMOTO, NOBORU	
MATSUI, HISAYA	
YARI, KENTARO	
INUZUKA, TADASHI	
KAWAI, TETSUO	
OTA, YASUHIKO	
IMAI, SHUNJI	

ASSIGNEE-INFORMATION:

NAME	COUNTRY
MATSUSHITA ELECTRIC IND CO LTD	N/A

APPL-NO: JP06165252
APPL-DATE: July 18, 1994

INT-CL (IPC): D06F058/02

ABSTRACT:

PURPOSE: To dry clothing without generating a damage and a thermal contraction to the clothing, by making the hot air hit the whole clothes when

the clothes are dried in a rotary drum by blowing the hot air into the rotary drum in which plural baffles are installed.

CONSTITUTION: Plural baffles 20 are installed on the peripheral inner surface of a rotary drum 17 provided rotatably in an outer frame 1, and a hot air is blown into the rotary drum 17 by a double vane fan 6. A heater 3 is provided in the air flow passage to the rotary drum 17. The rotary drum 17 is composed to let flow the hot air in the baffles 20, and to blow off the hot air toward the almost rotating center of the rotary drum 17 by the baffles 20.

COPYRIGHT: (C)1996, JPO